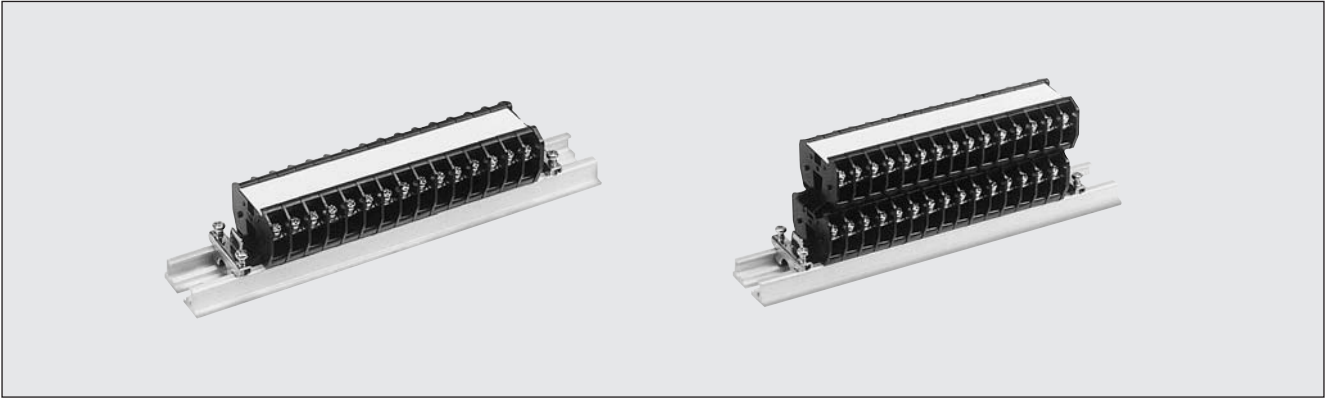


2 段組立端子台

TS-555形



□ 特 長

- TS-555 形端子台は、高電圧、少電流用として、特に、操作信号回路用に最適な端子台として設計され、任意の極数に接続することにより、
 - ① 固定端子台として、
 - ② レール組端子台として、さらに、
 - ③ 2 段端子台としてもご使用いただけるマルチタイプ。
- 変性 PPE 樹脂を使用していますので、機械的、電氣的に優れた安全性。
- 記名条片は特に広く 20mm 幅。
- RoHS 指令対応品。



TS-555形

❖ 形式の構成

■ 1段のレール組立完成品形式構成



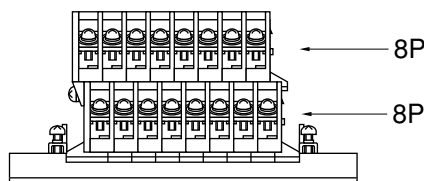
■ 2段のレール組立完成品形式構成



■ 単体の形式構成



● 例 TS-555R 8P×2の場合



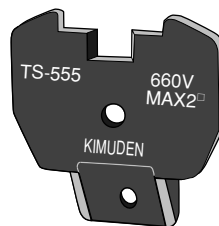
● 端 末

▼ TS-S555A



重量：2g

▼ TS-S555B



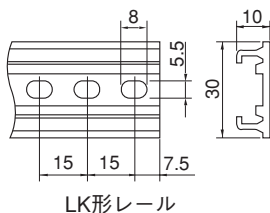
重量：1.7g

TS-S555Aは1段組立の末端に使用するもので、クサビ嵌合するだけで端子台と連結ができます。

TS-S555Bは2段組立の末端に使用するもので、クサビ嵌合によって、端子台と連結ができます。

● レール

▼ AR-LK

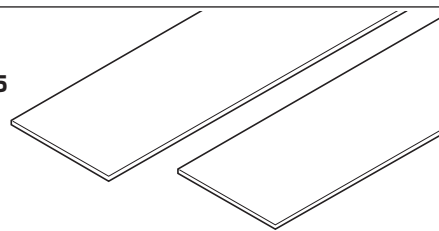


LK形レール

長さ／1000mm
販売単位／5本
重量(1本当たり)／270g

● 記名条片

▼ TS-M555

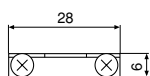


19.8mm×900mm 厚さ1.0mm

重量：27g

● 端末金具

▼ MF-LKB



販売単位／10個
重量(1個当たり)／4.7g

● レール保護キャップ

レール設置前だけでなく、設置後にも取り付けることができます。

▼ AR-CL



適合レール／AR-LK
材質／ポリプロピレン
販売単位／10個
重量(1個)／0.9g

・一度使用したレール保護キャップは、繰り返し使用せず新しいものと交換願います。



端子台

❖ 定格・性能

定格絶縁電圧	660V
定格通電電流	15A
適合電線	Max. 2mm ²
端子間ピッチ	8mm
端子ねじ	M3×8セルフアップねじ (推奨締付トルク:0.6~0.9 N・m)
極数	任意の極数
絶縁抵抗	充電部相互間、充電部接地間 DC500Vメガー500MΩ以上
耐電圧	充電部相互間、充電部接地間 AC2500V 1分間異常なし
使用温度・湿度範囲	-25~55℃、45~85%RH (ただし氷結または結露しないこと)
準拠規格	JIS C 2811工業用端子台

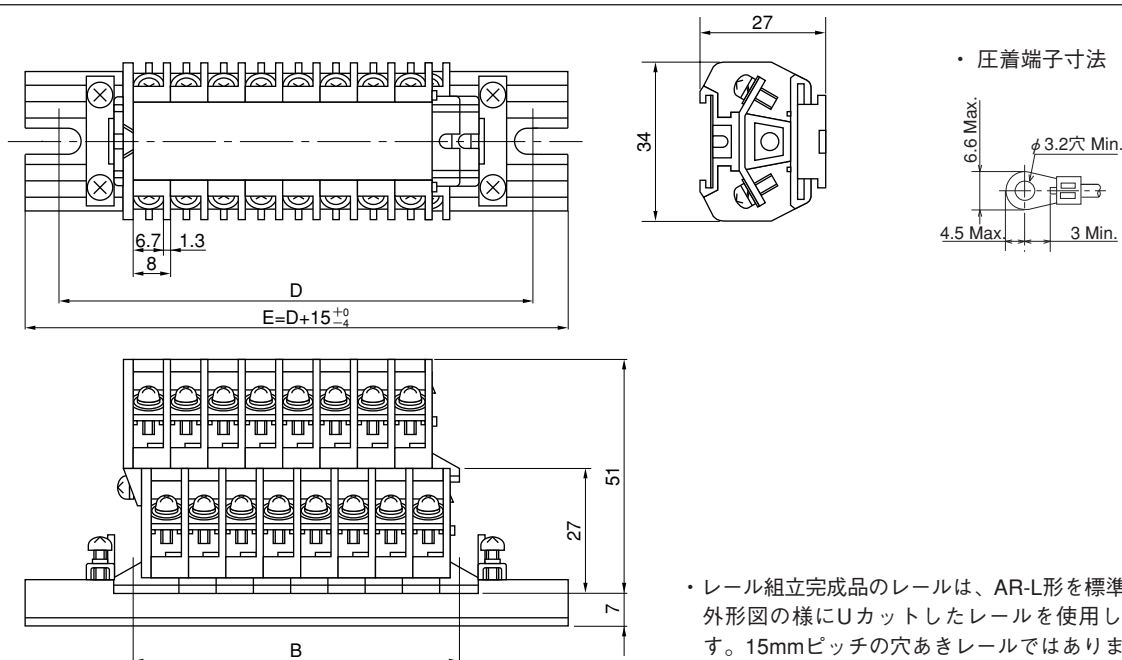
❖ 材質

絶縁台	変性PPE樹脂(黒色)	UL94V-0
端子金具	黄銅(ニッケルめっき)	
端子ねじ	炭素鋼 (垂鉛めっき、クロメート処理)	
記名条片	硬質塩化ビニール板 (白色、幅20mm)	UL94V-0

● 製品重量計算式 (単位:g)

$$8.3 \times P + 25$$

❖ 外形図



・ 圧着端子寸法

・ 適合レール：AR-LK形

・ レール組立完成品のレールは、AR-L形を標準とし、外形図の様にUカットしたレールを使用しています。15mmピッチの穴あきレールではありません。また、他のレールにて組立完成品をご希望の場合、別途レール形式をご指示願います。

B・D 寸法表(単位:mm)

ブロック	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
極数(P)	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
B	24.1	32.15	40.2	48.25	56.3	64.35	72.4	80.45	88.5	96.55	104.6	112.65	120.7	128.75	136.8	144.85	152.9	160.95	169
D	60	60	75	75	90	90	105	105	120	135	135	150	150	165	165	180	180	195	195

ブロック	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
極数(P)	42	44	46	48	50	52	54	56	58	60	62	64	66	68	70	72	74	76	78	80
B	177.05	185.1	193.15	201.2	209.25	217.3	225.35	233.4	341.45	249.5	257.55	265.6	273.65	281.7	289.75	297.8	305.85	313.9	321.95	330
D	210	210	225	240	240	255	255	270	270	285	285	300	300	315	315	330	330	345	360	360

ブロック	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
極数(P)	82	84	86	88	90	92	94	96	98	100
B	338.05	346.1	354.15	362.2	370.25	378.3	386.35	394.4	402.45	410.5
D	375	375	390	390	405	405	420	420	435	435



端子台

❖ 取扱い方法

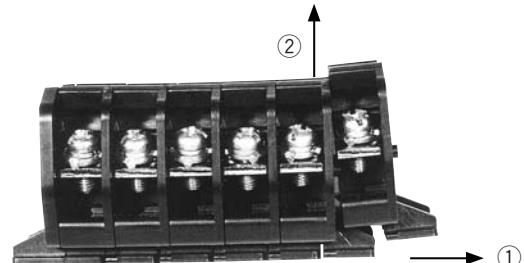
● 連結する場合

連結の場合右写真のように上部クサビを合わせ、矢印方向に力を加えますと、カチッという音とともに結合します。



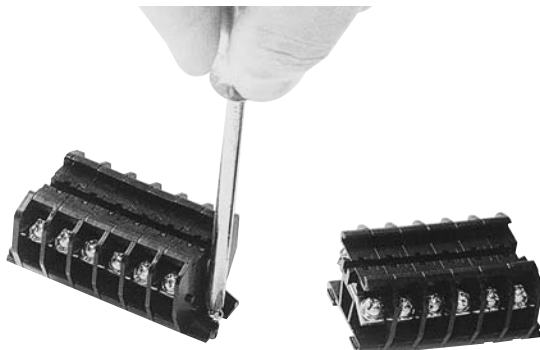
● 分割の場合

分割の場合、写真のように①の方向に爪を外し、②の方向に力を加えますと、上部のクサビが分離して容易に取外しができます。



● 取付レールなしでパネル取付けの場合

数多くの極数を平坦なパネルに取付ける場合取付穴を10Pおきにあげ、次々とねじ止めすることで、長く連結することができます。



端子台

● 2段重ねに連結する場合

1段目を組立ててから

- ① 端末A側に最も近いナット落込穴に六角ナットM2.6(3種)を入れる。
- ② 2段目に所定の極数に組合わせられた端子台を矢印方向より入れ、六角ナットで衝突する位置まで挿入する。
- ③ 端末Bを2段目の端子台のクサビに合わせて入れる。
- ④ なべ小ねじM2.6×10にて締付ける。

